学校番号	1007

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語アドバンストＡ	２	２	・英語演習ノート ORANGE 版 －英文法の確認－ ・英文法・語法　Engage ・ターゲット１９００

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業は、1 年次に学習した文法知識のさらなる定着と応用力の発展を目的としています。授業内では各文法項目を繰り返し練習するとともに、学んだことを用いて自身の考えを表現します。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・自然なスピードで話される短い身の回りのことや身近なトピックについての英文を数回聞けば、その使用状況や概要を概ね理解できる。 ・５文程度の短い話や会話を聞いて、話し手の意図や内容の状況を理解できる。	・まとまりのある英文を後戻りすることなく一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら、全体の要旨を大まかに理解することができる。 ・様々な種類の英文を、その意図を理解し、読む速度を変えながら、必要な情報を大まかに読み取ることができる。	・絵、写真など視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて、情報を交換することができる。 ・簡単な語や表現を使って、互いの意見交換（賛成か反対か、どう思っているかなど）をすることができる。	・絵、写真など視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて簡単に説明することができる。 ・簡単な語や表現を使って、自分の意見（賛成か反対か、どう思っているかなど）を述べることができる。	・簡単な語や表現を使って、身近なトピックについて書くことができる。 ・簡単な語や表現を使って、自分の意見を書くことができる。

３ 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の語彙・表現・文法の働きなどの理解を深め、これらの知識を活用し読む・聞く・書くことによるコミュニケーションにおいて、状況に応じて適切に活用することができる。	・日常的な話題や社会的な話題ついて、場に応じた語句や表現や文法を活用して、情報や相手の意図を的確に理解できる。また、これを活用し伝え合うことができる。	・主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Unit 1 ～ Unit 12	聞くこと	a: 学んだ文法知識やフレーズごとに聞き取る技術が身についている。 b: 単文構成の基本的な英文の聞き取りができる。 c: 音節と音の強弱の知識を活用して主体的な聞き取りができる。	リスニングテスト
		読むこと	a: 学んだ文法知識が定着している。 b: 学んだ文法項目や表現を用いて、各問題を解くことができる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、各英文の意味理解をしようとしている。	定期考査 小テスト
		話すこと (やりとり)	a: 学んだ文法知識や各語の発音が身についている。 b: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えを表現できる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えをペアやグループで表現しようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 英語の語順や学んだ文法の知識が身についている。 b: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えを表現できる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えを整理して書くことができる。	定期考査 課題提出
	中間考査			
	Unit 13 ～ Unit 23	聞くこと	a: 学んだ文法知識やフレーズごとに聞き取る技術が身についている。 b: 単文構成の基本的な英文の聞き取りができる。 c: 音節と音の強弱の知識を活用して主体的な聞き取りができる。	リスニングテスト
		読むこと	a: 学んだ文法知識が定着している。 b: 学んだ文法項目や表現を用いて、各問題を解くことができる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、各英文の意味理解をしようとしている。	定期考査 小テスト
		話すこと （発表）	a: 学んだ文法知識や各語の発音が身についている。 b: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えを表現できる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えをペアやグループで表現しようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 英語の語順や学んだ文法の知識が身についている。 b: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えを表現できる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えを整理して書くことができる。	定期考査 課題提出
	期末考査			
2	Unit 24 ～ Unit 32	聞くこと	a: 学んだ文法知識やフレーズごとに聞き取る技術が身についている。 b: 単文構成の基本的な英文の聞き取りができる。 c: 音節と音の強弱の知識を活用して主体的な聞き取りができる。	リスニングテスト
		読むこと	a: 学んだ文法知識が定着している。 b: 学んだ文法項目や表現を用いて、各問題を解くことができる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、各英文の意味理解をしようとしている。	定期考査 小テスト
		話すこと (やりとり)	a: 学んだ文法知識や各語の発音が身についている。 b: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えを表現できる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えをペアやグループで表現しようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 英語の語順や学んだ文法の知識が身についている。 b: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えを表現できる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えを整理して書くことができる。	定期考査 課題提出
	中間考査			
	Unit 33 ～ Unit42	聞くこと	a: 学んだ文法知識やフレーズごとに聞き取る技術が身についている。 b: 単文構成の基本的な英文の聞き取りができる。 c: 音節と音の強弱の知識を活用して主体的な聞き取りができる。	リスニングテスト
		読むこと	a: 学んだ文法知識が定着している。 b: 学んだ文法項目や表現を用いて、各問題を解くことができる。	定期考査 小テスト

			c: 学んだ文法項目や表現を用いて、各英文の意味理解をしようとしている。	
		話すこと（発表）	a: 学んだ文法知識や各語の発音が身についている。 b: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えを表現できる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えをペアやグループで表現しようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 英語の語順や学んだ文法の知識が身についている。 b: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えを表現できる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えを整理して書くことができる。	定期考査 課題提出
	期末考査			
3	Unit 42 ～ Unit 52	聞くこと	a: 学んだ文法知識やフレーズごとに聞き取る技術が身についている。 b: 単文構成の基本的な英文の聞き取りができる。 c: 音節と音の強弱の知識を活用して主体的な聞き取りができる。	リスニングテスト
		読むこと	a: 学んだ文法知識が定着している。 b: 学んだ文法項目や表現を用いて、各問題を解くことができる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、各英文の意味理解をしようとしている。	定期考査 小テスト
		話すこと（発表）	a: 学んだ文法知識や各語の発音が身についている。 b: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えを表現できる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えをペアやグループで表現しようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 英語の語順や学んだ文法の知識が身についている。 b: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えを表現できる。 c: 学んだ文法項目や表現を用いて、自身の考えを整理して書くことができる。	定期考査 課題提出
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度